

第50週の発生動向 (2005/12/12~2005/12/18)

1. 水痘は、青森保健所管内で新たに**警報**が、五所川原保健所管内で新たに**注意報**が出されました。
2. 伝染性紅斑は、青森保健所管内、弘前保健所管内で引き続き**警報**が出されています。

第50週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ					35	2.50	1	0.14	32	3.56			68	1.05	25
(60) 咽頭結膜熱							1	0.20	1	0.17			2	0.05	2
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.88	14	1.40	3	0.33	1	0.20	3	0.50	2	0.50	30	0.71	-1
(62) 感染性胃腸炎	87	10.88	106	10.60	39	4.33	2	0.40	61	10.17	39	9.75	334	7.95	54
(63) 水痘	58	7.25	14	1.40	24	2.67	28	5.60	11	1.83	7	1.75	142	3.38	36
(64) 手足口病											1	0.25	1	0.02	-1
(65) 伝染性紅斑	19	2.38	24	2.40	5	0.56			5	0.83			53	1.26	18
(66) 突発性発しん	2	0.25	2	0.20	7	0.78	1	0.20	3	0.50	3	0.75	18	0.43	6
(67) 百日咳															-1
(68) 風しん					2	0.22							2	0.05	2
(69) ヘルパンギーナ															-1
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	6	0.75	3	0.30	2	0.22	11	2.20	1	0.17	5	1.25	28	0.67	-2
(73) 急性出血性結膜炎															-1
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	1	0.50	4	4.00	1	0.50			8	0.73	0

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
青森	13	8	5	2
弘前	16	10	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
合計	65	42	23	11

は警報
 は注意報
 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

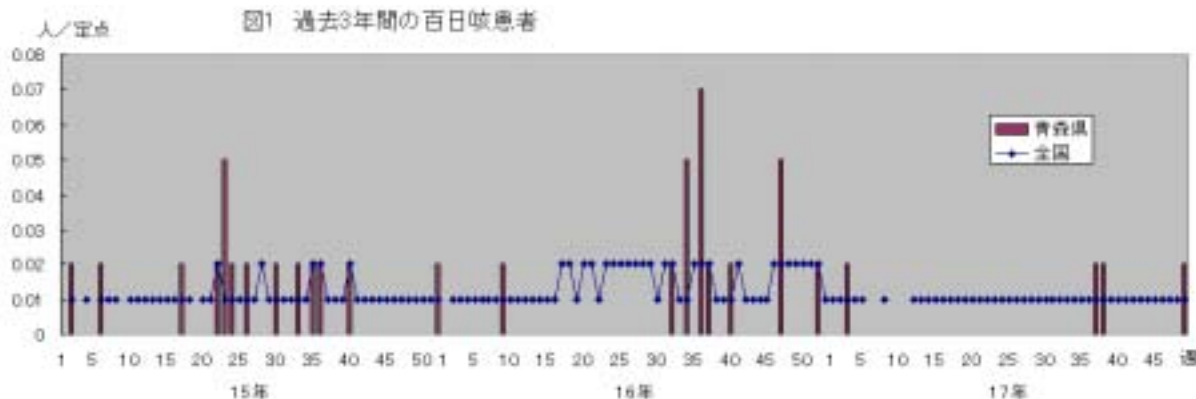
- (59) RSウイルス感染症(五類定点把握疾患) 弘前保健所管内: 12人 五所川原保健所管内: 3人
上十三保健所管内: 7人 むつ保健所管内: 1人 (17年計 104人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 3人 (17年計 155人)

病原体検出情報

弘前地域で12月上旬に採取されたインフルエンザ患者材料からA/H1型インフルエンザウイルスが検出されました。

感染症の窓

百日咳



百日咳は、乳幼児への予防接種により頻繁に発生する病気ではなくなりましたが、散発的に発生しています(図1)。

百日咳菌またはパラ百日咳菌による感染症で、7日程度の潜伏期間の後、感冒様症状で始まり次第に咳が強くなります。嘔吐を伴う場合がありますが、発熱はありません。

咳は夜間に多く、顔を真っ赤にしてコンコンと立て続けに激しく咳き込み最後にヒューと音を立てて息を吸い込む発作(痙咳)を数回繰り返した後、透明な粘稠性の痰が出ます。また、眼瞼が浮腫状となる「百日咳様顔貌」がみられます。